

第4号

H23. 4. 1発行
(年4回発行)

編集発行

皆野町地域包括支援センター

皆野町大字皆野1420-1

電話 62-1233

在宅介護者のつとめ募集

おしゃべりしたい、情報交換したい、レクリエーションや勉強会など、いろいろやります。申込みは不要ですので、日程表の中で都合の良い日に気軽にお越しください。

場所：平日は皆野町役場 2階和室 土日は皆野町総合センター等

時間：10:30~12:00

参加費：100円 (お茶菓子代)

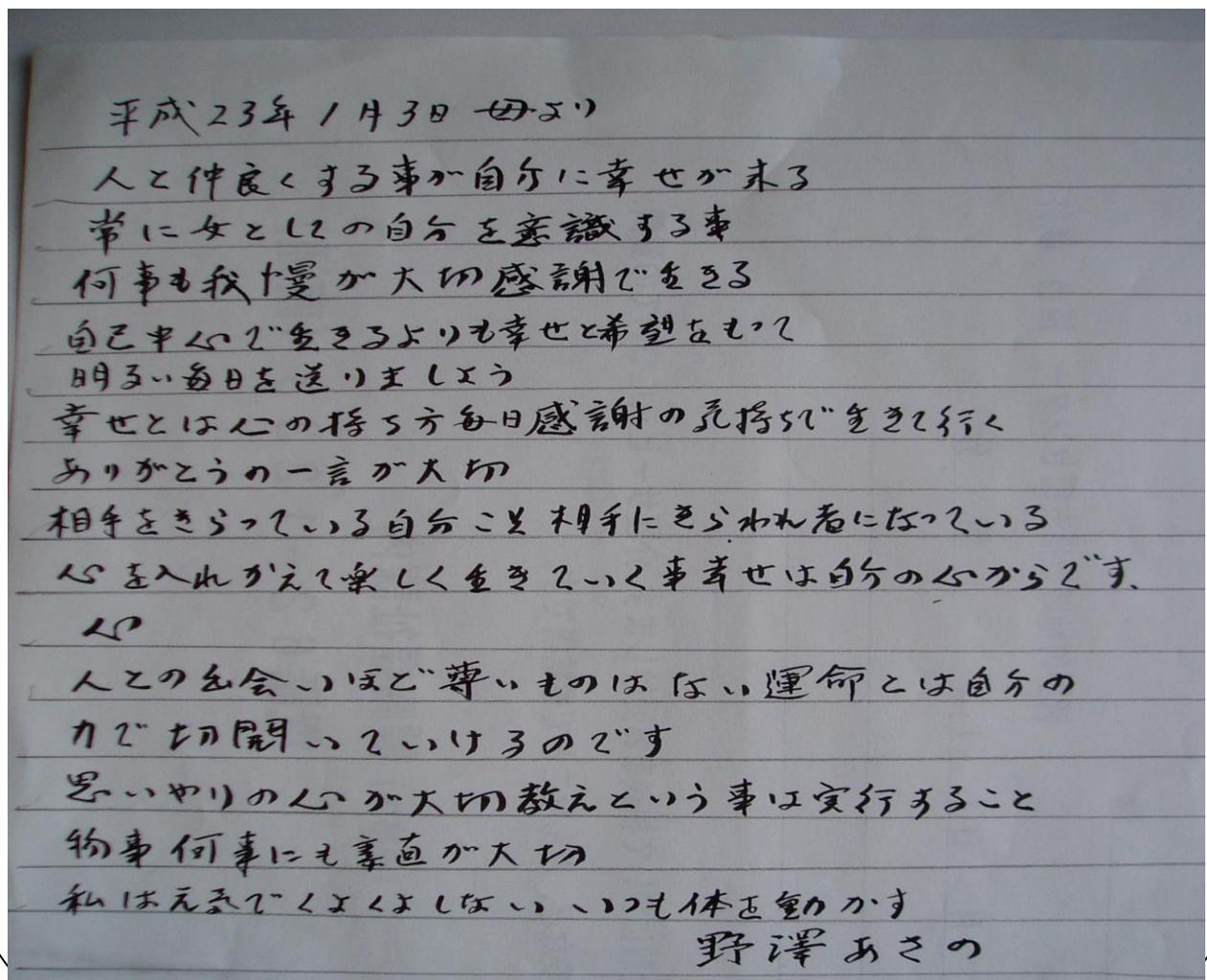
問合せ：地域包括支援センター (健康福祉課内) 62-1233

平成23年度年間日程表

4月	5月	6月	7月	8月	9月
11日	11日	11日	11日	11日	11日
月	水	土	月	木	日
10月	11月	12月	1月	2月	3月
11日	11日	11日	11日	11日	11日
火	金	日	水	土	日

今号の特集 地域でいきいき生活

書くことが大好きな野澤あさのさん（上三沢区）は今年で90歳を迎えます。家のどこにでも紙とペンを用意してあり、思いついたことをその場で書いています。下の手紙は離れて暮らすこども達に宛てたものです。「我慢が大切、自己中心的ではいけない、他人への思いやりや感謝の気持ちが大事、幸せは自分の心が決める」と伝えています。若い世代への思いがたくさん詰まっています。



<地域包括支援センターからのお知らせ>

★地域でいきいき生活している高齢の方を募集！！★ 自薦・他薦を問いません。

★地域活動情報を募集！！★

地域の寄合や行事など活動している団体を把握しています。地域社会の繋がりを通じて介護保険サービス以外の介護予防に一役買うような活動をぜひおしえてください。

(問合せ) 皆野町地域包括支援センター

TEL 62-1233 (内線 115・116) FAX 62-2791

ポータブルトイレとレコードプレーヤー寄付のお礼

前号でお願いしましたところ、多数の情報や問い合わせをいただきありがとうございました。おかげさまでポータブルトイレ5台、レコードプレーヤー2台の寄付をいただきました。ポータブルトイレは利用したいという希望者2名に贈呈し、有効に利用していただいています。レコードプレーヤーはレコードで歌を聴きたいという希望者に貸し出し、大変なつかしいとよろんでいただいています。

なお、寄付の受付は一時中断します。

寄贈者は以下のとおりです。(掲載同意をされた方に限ります。)

神林 一夫 様(皆野地区) ポータブルトイレ 2台

四方田 雅 様(国神地区) ポータブルトイレ 1台

(問い合わせ先)

皆野町地域包括支援センター

(健康福祉課内)

電話 62-1233 (内線115・116)



地域包括支援センターはこんな仕事をしています。

地域包括支援センターは、高齢者のみなさんが住み慣れたところで安心して自立した生活が続けられるようにお手伝いします。

具体的には、介護保険サービスの利用方法、介護予防、保健福祉、権利擁護、そのほか生活に関する不安や悩みなどいろいろな相談に応じます。気軽に相談ください。

高齢者のよろず相談所

皆野町地域包括支援センター（健康福祉課内）

電話 62-1233 内線 115・116

【編集後記】

「いってきます。」「いってくる。」「いってらっしゃい。気をつけて。」と『いつも』と変わらない朝。会社や学校で『いつも』と変わらない仕事や勉強に励む屋下がり。3月11日（金）午後2時46分。その『いつも』と同じ生活があつという間に消し去られてしまった。東北地方太平洋沖地震。その規模はM9.0世界最大級であるという。発生当初は被害の全容が明らかにならなかったが少しずつ分かりはじめた。想像をはるかに超える被災地の惨状を伝える映像が流れるたびに、自然に対してこんなにも人間は無力なものかと絶句し言葉がでない。役場も警察署も消防署も病院も会社も学校も商店も金融機関も住宅も道路も橋も何もかも町全体の跡形がないのだから。そこに暮らしていた人はどうなっているのか。犠牲になられた方の尊厳さえ与えてくれない自然の力に強い憤りを感じる。これから、被災された方の救出活動と支援が本格化するだろうが、義援金・節約・ボランティアなど自身に何ができるか、身を置き換えて生活したい。そして自然の猛威に対する備えを住民と行政が一体となってもう一度よくよく考え改めなくてはなるまい。そうしなければ、犠牲になられた方に申し訳がたたない。

犠牲になられた方のご冥福をお祈りするとともに、被害に遭われた方が一日でも早く元の暮らしを取り戻せるように全力で協力しよう。自然の猛威に立ち向かうために。

ペン やす